三隅広報

発行所　三隅町広報委員会
発行者　稲田正治
編集人　三原祥祐

農業近代化に於ける融資の問題点をつく

農林業者の経営の近代化を促進するため、さきに制定された基本法に基き☆資金制度の法案も近く国会に上程される折から、県はこれを待たず暫定措☆置として、融資に対する利子の一部を助成し、町もこれに沿つて利子の一☆部を補助する外、今年度に限り意欲を換起する意味から、利子の一分が奨☆励金として交付されます。依つて借入者の負担する利子はその事業によつ☆て異るが最高七分、最低二分となります。融資の取扱は、農協において行☆われ資金は農協自已資金及び県信連等の転貸により行なわれることになつ☆ております。各自に於ては、経営計画を樹立の上、農業連絡員を通じてお☆知らせしてある。借入手続により早目に申請じて事業の早期実現に努力し☆ましよう。更にこの融資の運用についていろいろ問題点もあるので、過る☆八月二十八日町執行部、議会、並びに農協役員合同の懇談会を開催し、よ☆りよく活用が出来るため、大要次のような話し合いを行いました。

問（町当局側）組合の総会により決定されている一戸当り貸付け限度額は最高五〇万円とされており、既にこの限度額を満たしておるものに対するこの資金の融通はどうなるか別枠として取扱を望む

答（農協側）農協法が改正されればはつきりするが現段階においても国の精神を尊重し、個人貸付の限度は定められているが近代化資金の融資に限り、これにとらわれず別枠として新たに考慮している

問（農協側）貸付枠の不足や認定から洩れる場合も考えられるので、その場合の対策について

答（町側）貸付枠は近代化を積極的に奨めて行く折から充分需要に応えられるよう準備されるものと思う。しかし産地形成をなすものや協業によりその価値が高いものを優先されるので、町の新生計画に沿つて、計画を樹てるよう望む

問（町当局側）過去融資に対する保証について難しい条件が課せられ、意欲を阻害していた様に見受けられるが、近代化資金の本質から思いきつた経営改善が出来得るよう安易にされたい。

答（農協側）なるべく安易な方法で貸付するよう方途を講ずるが回収の責任が農協にあるので、対象事業融資額等により異なるが、場合によつては担保貸付することも考えられる。

問（農協側）融資申請の受付けと町の審査はどのようにされるか

答（町側）借入希望者は所定の書類を農協に提出し、協議をかわし、町に提出する町は毎月一回審査し、優先順位を定め県に進達する。

希望（農協側）この資金の運用に伴い相当の需要額が見込まれるので農協関係資金も僅少となるから、農林業者は進んで農協機関に預貯金することを望みたい。

（新生計画説明会　於三中講堂）

町政メモ

（九月）
一日　各学校学期始め
二日、三日　町内ソフトボール大会
四日　第十六回国民体育大会旗リレー、郡共出品千選衡会
七日　農業夏期研修会
上旬　定例教育委員会、民生委員会
十二日、十三日、十四日　施肥合理化米づくり批判会（辻亜、二条窪、市、麓、平
十七日　定
十八日

（十月）
一日　共同募金開始
上旬　定例教育委員会、軍人恩給加算会の説明会
六日、七日、二十六日、二十七日、三十日　一般住民健康診断
中旬　予防接種（
観デー、種畜場見学
中旬社会教育委員会、中学校秋季体育大会、敬老会
二十日　郡畜産共進会参加
二十六日　水田深耕現地研修会、全国中学校学力テスト
二十八日米づくり共進会審査
下旬　町内三小学校体育
一日～三十日　赤ちゃん

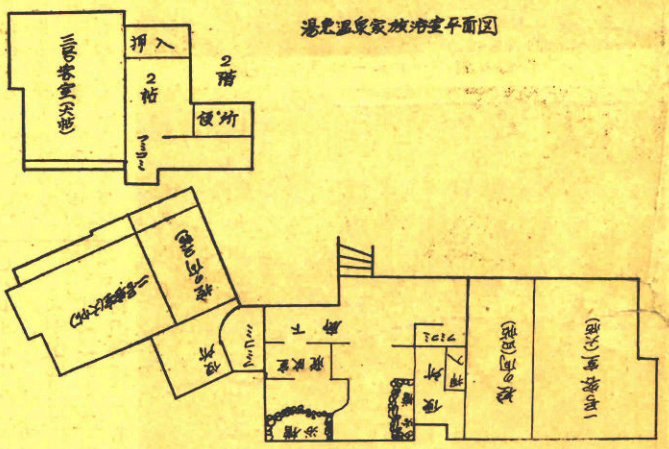
湯免温泉擴張に着手

町民いこいの場としての湯免温泉も開発以来順調な発展を見つつ満三ケ年を経過いたしました。

このたび開発以来の経営実績と一般入湯客の要望将来の見透しについて町議会に於て数度検討された結果、いこいの場としての温泉を更に観光的にも発展せしめ、このことが又町民の福祉を増進するものであることを考慮して差しあたり今年度次の通り着手することになりました。

一、家族浴場（休憩室を含む）の増築（平面図参照）
二、ボイラーの交換すえ付（第三泉源の活用）
三、配管及び送湯施設
四、既設建物の一部模様替
五、備品購入（テレビその他）
六、敷地購入

尚以上の事業経費は参百五拾万円であります。



本年度第三次 陸海空士募集

一、受付
自昭和三十六年九月一日
至仝　十月三十一日
二、試験
自昭和三十六年九月一日
至仝　十一月六日
三資格
十八才以上二十五才未満
四、入隊
昭和三十六年十月下旬から
詳細問い合せは町役場庶務係え

8月24日本町出身西村真空尉の繰従に
衛隊ヘリコプター本町に初の着陸とな
で
）明倫グランドに着陸せつな（中）西村空尉に
っの花束をおくる（下）町長さんの初の登乗ぶり

町新生運動協議会後の部落の動き

樅ノ木部落（1）

農業基本法案が法律化して来た今日、我が部落に於ては地理的に恵まれず、耕作面積も到つて少なく主食生産と日稼ぎ位では一般の生活水準を保つことは至つて困難でありますので色々と部落集会を行ひ研究した結果共有財産を売却しこれを資金として大家畜を導入し各戸の状況に依つてそれぞれ生産及肥育を主体に現在の一頭は二頭と飼料の許す範囲に経営を拡大し前進して行く様婦人部も交へて懇談会を開き部落一体となつてより良き経営に持つて行くべく努力して居ります。

部落貸金と制度金融による低利資金を合せ約三百五拾万円を基にして家畜の導入及畜舎の増築改築を為すと共にサイロの各戸一基以上設置目標で八月末にて約二十基を完了し本年末迄に全部完成の予定です。又生産肥育各グループ毎に毎月一回研修会を開く計画にて才一回として去る八月三日若令肥育牛七頭の研修会を開きました。

此の外共同にて推茸栽培も行ひ既に乾燥庫も一棟設置済で現在ほだ木も一万五千本有し三ケ年計画にて将来十万本に増す計画で、之に依り現金収入の増加を計る様努力して居ります一方導入資金の償還につきましては種々協議の結果各部門により三乃至五ケ年計画に依り順次償還する様計画指導して居ります。

以上簡単に部落の現況を報告し町民の皆様の御指導を御願ひ致します。

(2) 上中小野部落の分

行詰つた日本農業と云う言葉は確かに実際と成つて吾々農民の日常生活の中に又農業経営の中に現れて来ました。私達の部落は御承知の如く昭和三十三年二月に土壌断面調査に着手し此れを再研討すべく普通作部門を主体とした農事研究会を結成しトラツクターに依る土壌深耕平炉滓の投入、客土等あらゆる面より研究を続け此れが増収に努力をして来ました。しかし乍ら国の所得培増計画にともない農業の構造改善の問題が強く叫ばれてきた現在ここに吾々農民は大きく視野を広め、農民自らの奮起と新事態に処する技術を身につける必要に迫られてきました。

そこで吾々研究会も此の際農家経済の安定の為にも是非共新たに畜産部門をもうけ尚一層此れに対抗し得るだけの地盤を今から築いておく事が農民の将来を安泰に導き発展の多頭飼育に乗り出したのであります。しかし乍ら過去の吾々の経営状態をつぶさに反省してみますに余りにも無計画で此れが農業所得の一端をになふものとしては甚だ頼りないものでした。そこで此の問題に就いて根本的な原因を追求すると共に普及員の指導のもと自給飼料の作付、計画畜舎の改善、放牧場の設置等本年度事業計画として掲げすでに畜舎の改善等は三ケ処着工しそれぞれ三～六頭飼育出来る様に設計されております次に放牧場の設置でありますが此れは適地の点で色々グループ間でも問題になつておりましたが、此の度私有林二〇アール余りを開放し、やつと念願の放牧場を完成しました此の放牧場は五ケ年計画のもと毎年三月～六月迄の間を閉鎖し牧草の播種及び手入れ等を行う様グループ間の申合せに依り決定しております。

なお自給飼料の問題其の他は紙面の都合により省略しますが結論といたしまして吾々の目的はあくまで農業所得の増大を計る事は申す迄もありませんが、此れを通じて優良牛の育成に専念しやがては大郡全体が岡山、島根産牛をしのぐ和牛の生産地となる事も決して夢ではないと信じつつ努力する覚悟であります。

上中小野農研会長　吉祥清香

給付金が終戦前の引揚者にも支給される

今年五月十六日限りとなつていた引揚者給付金の請求は来年の五月十六日まで一年間延期され、さらに終戦前の引揚者にも給付金が支給されることになりました。

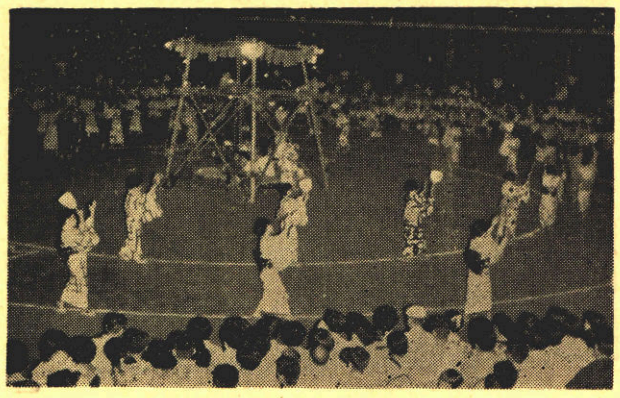
今回新たに給付金の対象となる引揚者とは、南洋群島、フィリピン、關領東印度諸島、フィなどに在住していた者…庁や陸海運等…制的に引揚…ります。…生課に

公民館の窓

第五回盆踊大会 反省とねがい

去る八月二十日（日）午後八時から明倫小学校庭で実施された、盆踊り大会を反省して見たいと思います

午後から青年団員の奉仕で櫓をつくり（木材森林組合より借用）其他の準備を完了し三千人の観衆の前であでやかな九チームが参加し、夜のふけるのを忘れ、踊りまくつたのであります。



（小島）おけさ歌へば　十五夜おどり　越路盆唄

（浅田）青空音頭　相馬盆唄　平和音頭

（市）につこり音頭　北から南迄

（中村土手）につこり音頭　北から西迄

（野波瀬）ゆもみ唄　十五夜おどり　そうらん節

（沢江）北海盆唄　南国土佐をあとにして

（豊原）北海盆唄　櫓かこんで　日本晴れだよ

（青年）地蔵盆唄　紅白音頭　越路盆唄

（電報電話局）マンボ　おいら炭坑夫　相馬盆唄

と出場順と出演舞踊名をきめました、そして終りには町内各部落の有志や　出演チームの踊子が全員「湯免小唄」の総踊りを行い非常に有意義でありました。

各方面の観衆の方や婦人会役員の意見を綜合して見ると

①本年からは趣をかえ、審査なしとしたのですが、かえつてゆとりができ、風格が

清風句会　八月分

亡き夫に初孫抱きて墓参り　一平

日の経つを早くと思う桐一葉　元

喜雨という程にも降らず止みにけり　蓮水

盆礼に子を連れ世帯やつれして　無名女

秋立つや今日も明るし吾が心　旬一

母の亡き父を心に帰省哉　かな牛

句稿練る耳にかしまし法師蟬　九重

学舎の窓一つ開き夏休み　米子

初秋や大空を行く雲一つ　たけし

閑かさや絵団扇を唯もてあそび　翁

次は九月十八日（土）に開催します。雑詠ですから十五日迄に七句以内公民館へ提出して下さい。

こんなところにも 社会体育が行われている

社会体育の振興については随分早くから叫ばれているが仲々盛り上らない、然し本町内にも小島部落の如く、一部落単位として四、五年前より計画的に而も漸進的に行われている所もあり。本年の行事も去る七月十七日実施されたが（小中高校生から青年、婦人成人一元となつて）老若男女それぞれの分野で実に愉快そうな体育レクリエーションであつた。

世話される漁協の小西常務さんに今日までの発展過程をお聞きして見ると

……小島部落……

一、部落にある弁天様のお祭りは古くから七月十七日と定められ最近迄船曳網業者が乗組員の慰労を兼ねてこれを主催して居た。

二、昭和三十三年から（海のお祭りであるので）漁業組合が主催し地域内の感情の融和、慰労、明日えの再生産の英気を養う等の意味からいろんな行事を織り込み、婦人部青年部の協力を求めて推進した

三、三十三年三十四年は①スモウ（青年部担当）②のど自慢（青年部担当）③バザー（婦人部担当）④宝くじ（青年女子部担当）を行つた。

四、スモウは出場者が一部に限られ而も土俵が不完全なため負傷者が出る危険もあるので取り止め、のど自慢はお祭りで各漁業経営者が関係者に振る舞い酒を出し場内の統制が取りにくいのでこれも取り止めた

五、これに代るものとして大人も子供も男子も女子もしかも出来るだけ多くの人が参加出来楽しめるものとしてバレーボール（青年部担当）映画会（青年部担当）を加えて三十五年度実施した（バレー参加八チーム）

六、三十六年度更に学童水泳を加えた本年度行つた。

内容は次の通りであつた

○水泳（青年男子担当）小、中学生

○バレーボール（〃）九チーム（中学生、高校生、婦人部（二チーム）青年部、村田真珠、高木真珠、岡田病院、漁協）

○宝くじ（青年女子担当）地区内全般

○映画会（青年男子担当）地区内全般

○バザー（婦人部担当）地区内全般

尚三十三年の頭初から夫々の行事に対して担当役員を定めて行つた

七、四年間を振り返つて見て本年度が一番組合員に喜ばれた様であるが、お祭りの主旨を生かし乍ら明日の再生産につながる地域のリクリエーションとして残された問題が多々あると思はれる。

と話される、成程年々反省の上に立つて計画されるのでうと考えることをあげて見ると

①今後共に等差をつけることは止した方がよい

②踊り時間、踊り子の人員は現状でよい

③花火大会を併催して空陸一体で夏の一夜を楽しみたい

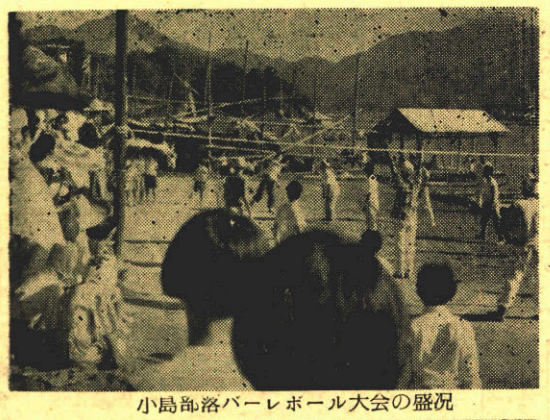
④出場五回表彰は連続五回出場としたい

⑤出場部落の順番制をつくつてはどうか（日置村にて実施中）更に男性の協力を望みたい

⑥出場チームの踊り子の観覧席を準備して欲しい

⑦総踊りになると一般の人が帰られるが、最後迄踊るか又は見るかして有終の美を飾つてほしい、宗頭部落の人が十名わざわざ参加されたのはよい、更にかみの部落の参加をのぞむ

⑧本年は遠距離部落には婦人部から（海のお祭りであるので）漁業組合が主催し地域内の感



小島部落バーレボール大会の盛況

今年から新たに加わつた小島部落小中学生水泳大会

（下）生島部落の海遊び

……生島部落……

育ち行く生島の子供育成会四方山に囲まれた生島は二十七世帯の内生徒数四十名其の家庭は十八戸此の子供達をすくすくと若芽の如く育て上げるべく懇談会は七月二十五日、本年は特に「夏休みを如何に有効にすごさせるか」と云ふ課題の基に開催、先づ子供会に依る決定及要望事項を取上げ検討、審議次の事を実行致しました。①子供会の奉仕作業、七月三十日公会堂及お薬師様の清掃②映画会の開催八月十日、社会教育及娯楽の一環として実施③海あそびの実施八月一日オ一回親子全員　水尻が浜」特に部落担任の先生に御参加を願ひ一日を楽しく有意義に送りました。④海水浴の輪班に就いて当番を二人づつ設け七月二十七日より八月中旬の間三日置に「午後一時より四時半迄」引卒監視し子供達のレクレエーションにと試みました当部落は小川で水泳の環境に恵まれない関係上憧れの海へ希望を持つ子供達に万一の災難が起らぬ様に考へ実施しました⑤会の運営上の資金として毎月戸別五円生徒一人に付き五円徴収致す事に決定しました。最後に八月二十五日反省会を兼ねた海あそびを実施色々と過る日を顧り見て良い環境の中で育て愛と誠によつて結ばれてこそ健全なる子供育成会が出来るものと考へさせられました。今後益々会の発展に努めたいと思ひます。

ある部落こども会活動

秋のスポーツだより

巾をひろげてもらいたい。尚毎日新聞の後援を頂きましたのでお礼申上げます。

成果

○浅田小学校同窓会球技大会

ソフトボール参加五チーム

優勝　浅田B チーム

バレーボール参加六チーム

優勝　浅田A チーム

○中学校同窓会球技大会

ソフトボール参加十チーム

優勝　三中

次勝　三中

○宗頭小学校同窓会球技大会

ソフトボール参加六チーム

優勝　学生チーム

卓球　参加三チーム

優勝　宗頭チーム

○明倫小学校同窓会球技大会

野球参加五チーム

優勝　中学生チーム

○青年国体県予選大会

女子百米二位藤田みゆき

三位大田つや子

女子砲丸二位藤村まさ子

三位上利順子

女子走巾跳三位多田よしえ

男子百米四位上田治男

五位朝枝直人

○百期町内野球大会

参加十チーム

優勝　養鶏組合

次勝　中村Aチーム

八月二七日

○町内バレーボール大会

職域　参加四チーム

優勝

○青年郡体各種大会

団体　相撲　女子バレーボール　柔道は団体に優勝

野球、卓球は団体に三位

これからの行事

九月二日三日

町内ソフトボール大会

大津長門中学校体育会に於いて

三隅中学校　卓球部男子優勝

○仝　女子　次勝

○ソフトボール　優勝

ソフトは春と連続優勝

○柔道　次勝

その他は何れも優勝を逸した

人物往来

（七月）

十七日　県商工水産部調査室渡辺主事来町（統計資料調査のため）

二十六日　町長上京（建設省、運輸省其の他関係官庁に対し昭和三十七年度予算に関する陳情のため）

三十一日　豊田林業事務所長来町（小島地区林道検査）

（八月）

八日　県住宅営繕課松尾主事他一名来町（住宅調査のため）

二十日　町長上京（公有林野について陳情）

二十四日　西部方面航空隊西村一等空尉外一名、山口地方連絡部奥村一等陸曹外二名来町

吉凶だより

自昭和36年6月16日
至昭和36年8月15日

出生の部

六月十六日―三十日　三名

七月分　十四名

八月一日―十五日　五名

死亡の部

六月十六日―三十日

豊原　福田俊雄　吾才

長門市東深川九五〇番の一で死亡

七月分

宗頭　大迫小八　吾三才

野波瀬　川畑弥生　一才

宗頭　宗本長作　四四才

下中小野　田村ユキ　九〇才

生島（病院）川本秀行　三才

本籍は熊本県天草郡龍ケ嶽町大字樋ノ島一〇四番地

八月一日―十五日

二条窒　堀作一　六三才

浅田　中野アキ　八二才

が、こうした雰囲気環境が又明日の生産えの大きな活力となることを信んずる。

△写真は当日のバレー及水泳大会の一コマです。

森林組合へ

九月三十日まで

（セ）

林申込